

# 小島地区ふれあいセンターだより



令和6年1月 第403号 運営委員会発行

愛宕3丁目10-2 電話826-7703



## 1月の行事予定

※毎週月曜日及び1月1日（月）～3日（水）は休所日です。

開催日	行事名	
9日（火）	小島地区ふれあいセンター運営委員会	午前10時～11時
10日（水）	すこやか運動教室（生涯元気事業）	午前10時～12時
12日（金）	小島愛宕地区老人連合会定例会議	午前10時～11時
	愛宕3丁目自治会給食会	
24日（水）	すこやか運動教室（生涯元気事業）	午前10時～12時
25日（木）	小島地区連合自治会連絡会議	
28日（日）	ニューイヤーコンサート（シルバー・アックス）	午後2時～

## 新年のごあいさつ

小島地区ふれあいセンター運営委員会

会長 金子 三智郎

明けましておめでとうございます。

旧年中は大変お世話になり、有難うございました。

ふれあいセンター運営委員会で会長を務めております金子でございます。

今年も、学習グループ、運営委員会、所長をはじめスタッフ一同よろしくお願いたします。昨年度は、コロナが長い間センターの活動に、足かせを架け続けましたが、やや遠のき、4年ぶりに「ふれあいセンターまつり」も復活しました。

新年度からは全ての活動に全力で取り組みたいと思っています。

今年の長崎市のランタンフェスティバルも、媽祖行列、皇帝パレード、各種の催し物は全て復活しそうです。また、皇帝パレードの「皇帝」役には福山雅治さんが登場するそうですが、パレードのコースが変更され観光通りや湊公園は通らないそうです。

少々不満に感じるのは私だけでしょうか？

今年は、「甲辰」（きのえ・たつ）の年です。天高く昇る龍に守られる辰年、「強運」や「お金に困らない」といった言い伝えがあります。また「辰年」は景気が良くなると言われており、株式相場の格言として「戌亥の借金、辰巳で返せ」と言い表されます。

戌亥年で出来た借金も、辰巳年で取り返せるという意味です。

2024年は景気の良い年となるといいですね。

今年が最良の年となる事を祈念申し上げ、新年のごあいさつと致します。

## 「秋の歴史探訪」講座について

十二月九日（土）に、小島地区ふれあいセンターの主催講座「秋の歴史探訪」を開催しました。

講師には、テレビ等でお馴染みの山口広助さんをお迎えしました。

当日は、好天に恵まれ、参加者（三十五名）及びスタッフは田上バス停に集合して、報国碑や田上稻荷神社や田上峠など、弥生町界隈を散策しました。

参加者の皆さんは、講師の説明を興味深く聞きながら、和気藹々（わきあいあい）と午後のひとときを楽しみ過ごされました。



## ☆こしまおはなしランド&クリスマス会☆

十二月三日（日）に、小島中学校区青少年育成協議会と小島地区ふれあいセンターの共催で、恒例の「こしまおはなしランド&クリスマス会」が開催されました。

小島中学校の生徒、小島小学校や愛宕小学校の児童、地域の園児や大人、約百二十名が参加しました。

田上おはなし会の皆さんによる読み聞かせ、長崎ランタンまつりでおなじみの変面ショー、小島小学校のお母さん達で構成する「よむぞうクラブ」による紙しばいや絵本の読み聞かせ、小島中学校の吹奏楽部の演奏などがあり、最後にサンタクロースが登場して、プレゼントが配られ、子供達は楽しい時間を過ごしました。



○第9橋 (魚市橋) 今魚町

元禄12年(1699)岡正恒が石造アーチ橋として架橋。名は付近に魚市が有ったからと云われます。享保6年(1721)、寛政7年(1795)、文化7年(1810)の大洪水で崩壊や再建を繰り返し、都度、石橋や木橋となり明治36年(1903)に鉄橋、大正14年(1925)に鉄筋コンクリート橋、平成の改修を経て現状となっています。  
☆令和4年(2022)この近くにあった江崎鼈甲店が閉店しました。宝永6年(1709)創業で、6代目当主、江崎栄造氏は、昭和32年(1957)に無形文化財に指定されました。明治31年(1898)建築の建物は国の登録有形文化財に指定されましたが、閉店と共に解体されてしまいました。

第10橋 (眼鏡橋) 酒屋町

国指定重要文化財 昭和35年(1960)  
寛永11年(1634)興福寺二代目住持唐僧黙子如定が架橋。中島川で最も古い石橋である。  
架設の位置は風水の方位と言われます。

日本三橋(岩国の錦帯橋・江戸の日本橋)の一つと言われている。  
す。

正保4年(1647)の大洪水で崩壊し、慶安元年(1648)平戸好夢が重修(出島商人の平戸重吉と同一人物)その後、長崎大水害での半壊まで、流失や架け替えの記録は無く、昭和58年(1983)に修復されています。

二重のアーチ橋、右と左のアーチの大きさが違います。(右が小)  
↓架設当時の技術では、アーチ1個の幅に自信が無く、2個とした、と云われます。

川の流れに10度曲がっていますが、橋桁は真直ぐに立っています。復元工事の際の解体調査で左岸側端に階段の跡が発見され、被災前までスロープであった橋端は旧態を復元すべく階段へと変更されました。材質は安山岩です。元々は、風頭山の石です。

長崎の蝙蝠 (四)

蝙蝠には、いくつかの顔がある

映画「ドラキュラ」で、ドラキュラが蝙蝠を操るところから蝙蝠と吸血鬼が一体化され、蝙蝠が悪魔のイメージを持つようになり、蝙蝠に良い印象をもつものが少ない。

一方、映画「バットマン」では、犯罪と暴力がはびこる街の犯罪者に制裁を加え、「蝙蝠男」と呼ばれ賞賛を浴びた。

このように善悪の両面を備えている。

人間が勝手に創造する中で、蝙蝠にとっては迷惑千万なことであろう。

蝙蝠という一小動物、皆さんの地域の片隅に眼を向けると、蝙蝠を発見できるでしょう。

# ふれあいセンターまつり

令和五年度の「第三十二回 小島地区ふれあいセンターまつり」は、十一月二十五日(土)から二十六日(日)に盛大に開催され、約五百四十名が参加されました。学習グループや地域の小中学校や保育園の皆さんの素晴らしい作品展示、学習グループの皆さんの澁瀬(はつらつ)とした舞台発表などがあり、楽しくて有意義なセンターまつりでした。

